



広 報

いいたて

<http://www.vill.iitate.fukushima.jp/>

平成15年

2 FEB 月

No. 472



再質問をする子供たち。積極的に意見や質問が出されました。▲

やわらかく
活力あふれる
りわこリタイ・ライフ
いいたて

第3回子ども議会 — 子供たちが熱心な議論 —

1月22日に「第3回子ども議会」が行われました。議会は再質問がされるほど積極的に質問・意見が述べられ、議場はさながら本物の村議会のような雰囲気でした。(関連ページ：2・3・4・5・6・7ページ)



◀議長の松岡くん



▲子ども議회를傍聴する子どもたち

第3回子ども議会開催

村内小学6年生が村の課題や将来を質問

第3回飯館村子ども議会は、1月22日に役場庁舎内の議場において開催されました。

これは、村の議会では普段どのような話し合いをしているかを実際に体験しながら学び、政治への理解を深めようと、行われているものです。

子ども議会は一般質問の形式で行われ、議長は白石小学校の松岡政晃くんが務めました。

子どもたちは、村長や役場の各課長を目の前にして、初めはやや緊張気味の様子でしたが、議長から名前を呼ばれると、各学校から選ばれた質問者は、大きな返事をして壇上に進み、それぞれの質問を読み上げ、村の考えを聞いていました。

また、議会の最後には各小学校を代表して3人の子どもたちから、村づくりに対する提案が出され、それぞれ満場一致で承認されました。

質問と答弁の内容

以下に質問と答弁の内容を掲載します。(※順不同)
(誌面の都合上要約してあります)



質問

草野小 須和あずさ議員
ゴミ問題について

昨年の12月1日から各家庭でゴミを燃やすことが禁止されました。でも、まだ家庭でゴミを燃やしている人がいるようです。それに対する村の対策をお聞かせください。

また、ゴミ袋の値段が他の市町村から比べるとまだ高い方です。もう少し安くありませんか。

次に、身体障害者やお年寄りの方のことを考え、もっと分別を簡単にでき

答弁

ないのでしょいか。

最後に、ゴミが燃やせなくなると、道路や山にゴミを捨てる人が多くなっているのではないかと思います。この対策についてお聞かせください。

家庭での焼却炉使用禁止は、ダイオキシンという有害なガスの発生を防ぐためのものですので、皆さんの理解とご協力をお願いいたします。

ゴミ袋の値段について、この収入は各地区のリサイクル団体に配分され、リサイクル推進やゴミの減量につながっています。さらに地区によっては老人クラブ、子供会などの活動資金となって、教

「村内の全ての家庭をインターネットでつないでほしい」という提案です。今、インターネットは会社や家庭などにあるのが当たり前のように普及し始めています。お年寄りには操作が難しいかも知れませんが、10年、20年後には誰でも簡単に操作できる時代が来るかも知れません。

インターネットの整備

育や生きがい対策に役立っています。

分別は、全国ではもっと細かく分別しなければならぬ町もたくさんあります。環境問題やリサイクルのために今の分別にご協力をお願いします。ゴミのポイ捨てですが、これは「不法投棄」といって法律に反する行為です。村では不法投棄監視員を選んで村内を見回ってもらったり、看板を立てたりしてポイ捨てをしないように呼びかけています。

答弁

は、情報収集に役立つ、家に居ながら買物ができる、さらに診療所等とつながっていれば、具合の悪かった人もすぐに助けられるし、健康管理もできるなど生活に役立ちます。予算の問題等難しい点もあると思います。が、村の考えをお聞かせください。

村としてもインターネットの有効性は十分に理解しているつもりですが、ご存知のようにインターネットを利用するためには、パソコンを買いなお金やそれを接続するお金、さらには毎月の電話代の負担が出てきます。

村で整備するとすると、これらの費用は結局皆さんのご両親が納める税金でまかなうことになりそうです。そうしますと、たく

質問

飯樋小 庄司 悠平議員
村内家庭へのインターネット普及について



さんインターネットを使う家庭と少ししか使わない家庭で差がでてしまいますし、使用するパソコンを選ぶ時も、個人の好みのパソコンが買えません。それらのことを考えますと、村が、全家庭にインターネットに接続できるパソコンを設置することは難しいと考えます。





質問
草野小 赤石澤 綾議員
合併問題について

私は合併に反対です。それは、村には私が生まれてから11年間の思い出がたくさんあること、村独自の楽しい催物があること、昔からの文化や努力がこの村に染み込んでいるからなどの理由からです。今、村では、合併問題を村民があまり深刻に考えていないように見えます。でも、将来大人になる私達がよく考えなければならぬと思います。現在の村の合併問題への考え、状況について教えてください。

答弁 合併問題は皆さん小学生にとって重要な問題です。村では2年かけて、合併の良い点、悪い点について住民と一緒に勉強会を行ってきました。村の考えですが、今後村のお金はもっと少なくなります。さらに飯館村は相馬地方の市町村とは気候も風土も産業も違う厳しい地域です。ですから合併してもしなくても、今までのように「村がやってくれるから」でなくこれからは、「自分の事は自分で」「地域で出来るものは地域で」という考

独自で進んでいく考えがあるかお聞かせください。
最後に、もし合併したとしてもこの飯館村は多くの人々の協力や努力で作られてきたことを忘れないで欲しいと思います。

えが大切になってきます。また、合併は相手がいることです。相馬地方の市町村とよく話し合いをしなければなりません。さて最後に、このまま飯館村のままでいく考えですが、大いにその考えはあります。これから村まかせでなく、住民が自分のできることを率先して行い、節約をしていけば合併しなくてもいいかも知れません。「いい暮らし運動」や「スローライフ」などを進め、もっ



質問
白石小 高橋 和徳議員
白石小学校の存続について

白石小学校がなくなってしまうことは、村にとっても地域にとっても大変な損失であり「村づくりは人づくり」という考えに反するのではないかと思います。

とゆっくり足元を見つめて、地元の資源を生かした暮らし方をしていくことが大切です。これら全てが村の未来を切り拓く道だと考えています。

答弁 合併については、良い事も悪いことも多くあります。ご質問のように小学校だけでなく、中学校や幼稚園、さらには診療所のことなどいろいろな問題が考えられます。重要なのは後で「合併した方が良かった」「合併しないほうが良かった」と後悔しないようにすることです。今村では村民の皆さんともしっかりと時間をかけて結論を出そうとしています。ですから、今の段階では学校が残るかどうかわからないので、明確な答弁が出来ないのでご了承ください。

高橋君が言うように小さな学校にも良い点がたくさんあります。村でもできるだけ学校を残すように住宅を建てたりして努力していきます。



質問

飯樋小 藤井 梨紗議員
定期バスの
運行について

私からは「村内に定期巡回バスを走らせてほしい」ということです。その理由の1つは、生活に必要なものを買う時に、飯樋町など近くでは、欲しい物が手に入りにくいこと、2つ目は、学校の行事などで草野や白石小学校に友達が出来ても遠くて私たち子供は会うことが出来ないことです。もし、バスがあれば、手軽に遠くまで買物に行ったり、友達を訪問することもできるはずです。ここまでは身勝手なお

答弁

願いですが、実際に村は交通の便が悪く、車がないければどうにもならないのが実状だと思います。もし、バスが走れば車を運転できない私たち子供やお年寄り等が非常に助かるのではないのでしょうか。巡回バスを走らせてほしいという私の提案や村としての改善策についてご意見をお聞かせください。

現在、村ではスクールバスと患者輸送バスが運行しています。これらのバスは乗る人数に余裕があれば誰でも利用することが出来ます。バスの運行については、運行の認可や車両の確保の問題、運転手の人件費、また住民の皆さんの要望に合わせる運行ができるか、さらに、せっかく皆さんの税

質問

白石小 浦住枝里奈議員
ゴミ問題について



私の家では、村で定めている分別への協力や、買物時の買物バック持参、肥料としての生ゴミの再利用などゴミを減らす努力をしています。

しかし、このことに協力的な家庭とそうでない金を使ってバスを走らせても、実際に利用する人が少なかったりして税金を有効に使えない場合など、難しい問題がたくさんありますので、定期巡回バスの運行についてはとても難しいと考えています。

家庭があり、ゴミに對しての意識が家庭によって違うことを母から聞きました。村でのこの意識の違いに對する指導についてお聞かせください。

次に要望です。今、戸数の多い大きな行政区は収集日が多く、小さい行政区は収集

日が少ない状態です。そのため、集めたゴミをのら犬などが荒してしまします。ぜひ小さい行政区の収集日を増やしてほしいです。

最後に、村で取り組んでいる分別は大きなリサイクル活動だと思います。その他の活動はあるのでしょうか。私が考えたのは、例えば、リサイクルの原点と言われるフリーマーケットを村まつりの時などに積極的にを行い、「リサイクルの村」としての住民の意識を高めれば、リサイクルの推進も

答弁

村ではゴミ収集の取り組みを見直し、各地区で説明会を行いました。

できるし、ゴミのポイ捨てもなくなるのではないのでしょうか。以上のことについて村の考えをお聞かせください。

ゴミの収集回数を増やせないかとの質問ですが、村では4人の職員が全てのゴミの収集を行っています。経費の問題等もあり、人数を増やすことは難しいです。今、職員を増やさずに浦住さんのような要望に応えられないか検討中です。リサイクルについての提言をいただきました。大変すばらしい案です。村でもリサイクル品目の追加やフリーマーケットの開催、中学校制服の再利用など、これからいろいろな案について検討していきたいと思っています。

子ども議会からの3つの提言



飯樋小 高橋菜奈美さん
「飯館村の
自然について」

村の自然について2つ提案します。
1つは地区ごとの「花」のことです。私は地区の花植えに1度参加し、植え終った花を見て「きれいだな」と実感しました。村を通る人も花を見れば気分が良くなりそうですし、また来たいと思うのでは

ないでしょうか。
2つ目はゴミのことです。帰宅時によく道端にゴミが捨てられているのを見かけます。ゴミを捨てずにできるだけリサイクルするように心がけてみませんか？
2つ同時に出来なくても1つだけでもできれば



よいことだと思えます。大人がやると決めつけなくて、みんなで協力していきましょう。

ゴミを減らすことで一番大切なことは、どんどんリサイクルすることです。着られなくなった服などはすぐに捨てないで手直しをしたり、別なものに作り変えたりしましょう。ま

た、びん、カン、紙などのリサイクルはゴミの減量につながるのと同時に、限りある資源のムダ使用を防ぎます。
リサイクルのために村で行っているゴミの分別に協力し、買物の時はリサイクルマークがついた

ものを買いましょう。
リサイクルをぼく達から家の人たちにも呼びかけ、ゴミを減らすように努力していきましょう。

臼石小 高橋 真也くん
「家庭からの
ゴミを減らそう」



草野小 高野 智香さん
「お年よりと
体の不自由な
人のために」

5年生の時にいいたてホームへボランティア訪問を行ったとき、そこで村にはお年よりの方が多くいることを知り、ホームで車いすに乗ったり、寝たきりの人がたくさんいたのを見ました。一般家庭にも体の不自由な方やお

年寄りがいると聞きます。今年の5年生もお年寄りに車いすを贈ろうとブルタブなどを集めています。車いす1台分集めるのはとても大変です。5年生だけでなく私たちみんなの協力が必要です。また、困っているお年

よりを見かけたら優しく声をかけたり荷物を持ったりしてあげれば、お年よりだけでなく、私たちも気持ちよくなれると思います。
これから進んでボランティア活動に参加しましょう。

子ども議会に参加して私は、政治は私たちの生活に結びついているんだと思いました。

佐藤 隆史くん(草小)

お父さん、お母さん達が納めている税金を大切に飯館村に必要なことに使っていることがわかりました。それに議会の大切さも知りました。

濱野 俊也くん(草小)

初めて知ったのが飯館村と大館村が合併したということです。これからはよりよい飯館村にするために自分も協力したいです。

高野 智香さん(草小)

子ども議会でいろいろな人の意見や提案を聞いて、みんな村のことを真剣に考えているんだなあと考えた。子供議会で出た意見が現実になり、村がさらに良くなればいいと思った。

堀江 麻矢さん(草小)

飯館村の6年生で行った海洋アドベンチャースクールでは、議会を開き予算などいろいろなことを決めたということがわかりました。村の大切なお金を使う時は、議会を開きみんなで意見を出し合わなければいけないので、とても大切だと思いました。

高橋 真也くん(臼小)

子ども議会に「真剣に聞こう」という気持ちで臨みました。合併、ゴミ問題、巡回バスなどがあげられ、3校の6年生みんなが村のことを真剣に考えているんだなと思いました。

佐藤 武くん(臼小)

子ども議会感想文集から

子ども議会の



感想

村では、12月1日にゴミに関する法律が変わったことで、様々なことを一生懸命検討中だったとは思いませんでした。次に中学生になる人のために制服もリサイクルするというお話を聞き、村では村民のことをしっかり考えているんだなと思いました。

菅野 美幸さん(臼小)

私が心に残ったことは、村長さんや教育長さん、住民課長さんの答弁です。その中でも村長さんは私たちのことを考えながら政治をしているのだなあとということがわかり、大変勉強になりました。佐藤八千世さん(臼小)

張りつめた空気の中でみんな真剣で、大人がやっている本当の議会みたいでした。

佐藤 祐太くん(飯小)

一つの意見が決めることはとても難しいことがわかりました。議会は大切だということが改めてわかりました。

平田 一行くん(飯小)

すごく緊張した雰囲気、議会はこんなに緊張するんだなあと思いました。飯館小の提案が可決された時はうれしかったです。

佐藤 唯さん(飯小)

いろんな話がたくさん聞けてよかったです。それから村長さんなどの方から答弁を聞いて、とても勉強になりました。

小林 良美さん(飯小)